

令和6年8月28日開会

令和6年8月28日閉会

静岡地方税滞納整理機構

議 会 定 例 会 会 議 録

静岡地方税滞納整理機構議会

令和 6 年 8 月 静岡地方税滞納整理機構議会定例会会議録目次

8 月 28 日（水曜日）

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 出席議員（8 人） |
| 1 | 欠席議員（0 人） |
| 1 | 開会 |
| 1 | 開議 |
| 1 | 議員異動の報告 |
| 1 | 議席の決定 |
| 1 | 副議長選挙（戸田 誠君当選） |
| 1 | 副議長就任あいさつ |
| 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 1 | 議長報告 |
| | （1）令和 5 年度歳入歳出決算の提出 |
| | （2）監査の結果 |
| | （3）例月出納検査の結果（6 件） |
| 1 | 会期の決定 |
| 1 | 令和 5 年度歳入歳出決算の上程 |
| 1 | 提案理由等の説明（広域連合長 鈴木 康友君） |
| 1 | 決算の説明（事務局長 清水 伸彦君） |
| 1 | 令和 5 年度決算の採決（認定） |

令和6年8月静岡地方税滞納整理機構議会定例会会議録

令和6年8月28日（水曜日）

○ 出席議員（8名）

一番 天野 一

二番 小長井 由雄

三番 勝又 正美

四番 難波 喬司

五番 池田 修

六番 戸田 誠

七番 中村 純也

八番 杉山 広充

午後1時30分開会

○ 議長（天野一君）

本日の出席議員は、8人でございます。

よって定足数に達しておりますので、ただいまから、静岡地方税滞納整理機構議会8月定例会を開会いたします。本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

○ 議長（天野一君）

報告します。書記に朗読させます。

○ 書記（河村書記）

議員の異動を報告します。

閉会中に、市長から選出の柳澤重夫議員の任期が満了し、これに伴う選挙において、難波喬司議員が当選されました。

また、市議会議員から選出の田代耕一議員の任期が2月10日に満了、戸塚哲夫議員から提出された辞職願を3月25日付けで許可し、これに伴う選挙において、戸田誠議員、中村純也議員が当選されました。

以上であります。

○ 議長（天野一君）

議員の異動に伴う議席は、ただいま標示してありますように決定いたします。

○ 議長（天野一君）

これから、戸塚哲夫議員の辞職に伴い、空席になっております副議長の選挙を行います。
お諮りします。

選挙の方法は、指名推選によることとし、議長において指名することとしたいと思います
が、御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○ 議長（天野一君）

異議なしと認め、そのように決定しました。

それでは指名します。

副議長には、戸田誠議員。

ただいま指名した 戸田議員を当選人と定めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○ 議長（天野一君）

異議なしと認めます。

ただいま指名したとおり、当選されました。

戸田誠議員が副議長に就任しましたので御挨拶をお願いします。

○ 議員（戸田誠君）

この場で御挨拶させていただきます。よろしくお願いいたします。

ただいま副議長に選任していただきまして誠にありがとうございます。

大変光栄な職であり、精神誠意務めて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

静岡地方税滞納整理機構の副議長として、精一杯やっていきますので、皆様の御協力、よろしくお願いいたします。（拍手）

○ 議長（天野一君）

ありがとうございました。

○ 議長（天野一君）

会議録署名議員を指名します。

会議録署名議員は、池田修議員及び戸田誠議員にお願いいたします。

○ 議長（天野一君）

報告します。書記に朗読させます。

○ 書記（河村書記）

広域連合長より、「令和5年度静岡地方税滞納整理機構歳入歳出決算」が提出されています。内容は、お手元に配付したとおりであります。

また、監査委員から、令和6年7月に実施した監査の結果に関する報告、及び、令和6年1月から6月までの現金の出納を検査した結果に関する報告がありました。

内容は、お手元に配付したとおりであります。

以上であります。

○ 議長（天野一君）

会期について、お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日 1 日と決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○ 議長（天野一君）

異議なしと認めます。

会期は本日 1 日と決定いたしました。

○ 議長（天野一君）

次に、議事日程により、令和 5 年度静岡地方税滞納整理機構歳入歳出決算を議題とし、広域連合長から説明を求めます。

○ 議長（天野一君）

鈴木広域連合長。

○ 広域連合長（鈴木康友君）

ただいま提出いたしました案件の概要を御説明申し上げますとともに、所信並びに諸般の報告を申し述べます。

「静岡地方税滞納整理機構」は、平成 20 年度の業務開始以来、構成団体から引き受けた滞納事案の完結に向けて、財産の差押え、インターネット公売、搜索などに取り組んでまいりました。

また、職員の能力向上に向けた研修事務、事務処理の効率化を図るための軽自動車税申告書処理事務を行っているところであります。

ここで、令和 5 年度の業務の成果について御報告いたします。

お手元の「静岡地方税滞納整理機構の取組成果」の1ページを御覧ください。

まず、徴収業務であります。令和5年度に引き受けた滞納事案につきましては、昨年6月から本年5月までの1年間に、約6億円を徴収し、これに、県、市・町の移管予告による自主納付及び納付約束を合わせますと、総額で約14億8千万円となり、目標に達する成果を上げております。

徴収率は49.6%となり、前年度を2.2ポイント下回ったものの、過去4番目に高い率となりました。

一方、財産がなく徴収が困難と判断した場合には、滞納処分の執行を停止する判定を行うなど、「取る」、「落とす」を適切に判断するよう努めているところであります。

また、令和6年度移管事案につきましては、6月末までの1か月間で、約7千万円の徴収実績を上げております。

本年度も、引き受けた滞納事案を着実に処理し、滞納額の縮減に取り組んでまいります。

資料の3ページをお開きください。

次に、研修事務であります。

徴収研修には、9科目について13日間で延べ557人が参加し、4ページにまいりまして、課税研修には、20科目について37日間で延べ1,106人、合わせて、延べ1,663人が参加しました。

資料5ページ記載の軽自動車税の申告書処理事務であります。約51万8千件の申告書をデータ化し、構成団体へ配付しました。

いずれの事務も、順調に成果を上げております。

今後も、県、市・町の税務職員の資質向上や税務行政の効率化に向けて、取り組んでまいります。

それでは、今回提出しております案件につきまして、その概要を御説明申し上げます。

令和5年度歳入歳出決算につきまして、先般、監査委員の審査をいただきましたので、議

会の認定に付するものであります。

議案の詳細、決算の内容については、この後、事務局長に説明させます。

以上で私の説明を終わりますが、適切なる御議決をよろしくお願い申し上げます。

○ 議長（天野一君）

清水事務局長。

○ 事務局長（清水伸彦君）

令和5年度 歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和5年度静岡地方税滞納整理機構 歳入歳出決算書」により御説明いたします。

1 ページをお開きください。

歳入歳出決算書についてであります。

歳入でありますが、歳入合計は、予算現額3億 775 万8千円 に対し、収入済額は 3億 764 万4,565 円となりまして、予算現額を11 万3,435 円下回りました。

続きまして、歳出でありますが、予算現額3億 775 万8千円 に対し、支出済額は 2億 9,700 万6,048 円となりまして、差額1,075 万1,952 円が不用額となり、歳入から歳出を差し引いた1,063 万8,517 円が、歳入歳出差引残額となりました。

次に、2 ページ、3 ページをお開きください。

「歳入歳出決算 事項別明細書」についてであります。

まず、歳入であります。

3 ページの収入済額3億 764 万4,565 円のうち、第1 款の負担金が2億 6,299 万9,500 円と、収入額全体の8割強を占めております。

これは、各構成団体から受け入れた徴収事務などに係る負担金であります。

第2 款 財産収入は、機構が借り上げた住宅に入居している職員から徴収した、職員住宅貸付料であります。

第3款 繰入金は、事務所の移転費用及び課税研修事務、軽自動車税申告書処理事務の財源として、財政調整基金から取り崩した額を計上したものであります。

第4款 繰越金は、令和4年度の歳計剰余金を計上したものであります。

第5款 諸収入は、預金利子のほか、滞納者から徴収した不動産鑑定料等の滞納処分費、会計年度任用職員の社会保険料本人負担金などであります。

次に、4ページ、5ページをお開きください。

歳出であります。まず、第1款の議会費であります。

こちらは、広域連合議会に係る経費であります。

続きまして、第2款 総務費であります。

第1項 総務管理費のうち、第2目 財政管理費の550万円は、令和4年度の歳計剰余金のうち、財政調整基金へ積み立てた額を計上したものであります。

第2項 徴税费であります。

第1目 税務総務費の第18節負担金、補助及び交付金1億3,085万710円は、職員の人件費として、派遣元の構成団体に支出した交付金であります。

第2目 賦課徴収費は、機構の運営及び業務に要した経費であります。

主な内容は、会計年度任用職員の人件費、職員の出張旅費、軽自動車税申告書処理事務に係る委託料、滞納整理システムや公用車のリース料などであります。

6ページ、7ページをお開きください。

第4項 監査委員費は、監査委員の報酬及び旅費などの経費であります。

第3款 予備費は、執行がありませんでしたので、全額が不用額となっております。

次に、8ページをお開きください。

「実質収支に関する調書」についてであります。

歳入総額は3億764万5千円、歳出総額は2億9,700万6千円でありまして、差引額は1,063万9千円となりました。

翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、差引額が実質収支額となっております。

こちらにつきましては、繰越金として令和6年度補正予算に計上し、令和5年度と同様に地方財政法に基づき、2分の1以上の額を財政調整基金に積み立てる予定であります。

9ページを御覧ください。

「財産に関する調書」についてであります。

まず、「1 物品」につきましては、令和5年度の増減は、ありませんでしたので、年度末の現在高は、1台となっております。

次に、「2 基金」につきましては、財政調整基金について、令和4年度末の現在高7,171万8千円に対し、令和5年度の増減は、2,182万1千円の減となり、年度末の現在高は4,989万7千円となっております。

令和5年度の決算状況は以上のとおりであります。

なお、お手元にお配りいたしました「令和5年度静岡地方税滞納整理機構 歳入歳出決算の審査について」のとおり、去る7月25日に実施されました決算審査の結果、監査委員から「適正に処理されている」旨の意見書が提出されております。

歳入歳出決算の説明は以上であります。

御審査の程、よろしくお願いいたします。

○ 議長（天野一君）

以上で、説明は終わりました。

質疑の通告はありませんので、ただいまから採決します。

本決算は、これを認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○ 議長（天野一君）

異議なしと認めます。

本決算は、認定されました。

○ 議長（天野一君）

以上で、本定例会の議事は、すべて終わりました。

これをもちまして本日の会議を閉じ、8月定例会を閉会いたします。

午後1時50分閉会

会議録署名者

静岡地方税滞納整理機構議会議長 天野 一

静岡地方税滞納整理機構議会議員 池田 修

静岡地方税滞納整理機構議会議員 戸田 誠